

令和2年12月13日(日) 正月準備 大しめ縄など製作

神社関係者及びOBの方々総出で行われました。大しめ縄など大量のしめ縄・大根注連を製作します。^{だいこんじめ}
先週の篝火組み上げに続き今週・来週の準備を経て越年祭・元旦祭を迎える、一番忙しい月です。
特に今年はコロナ禍の中、感染対策に苦心されています。



治具を使って鳥居用のしめ縄の製作 左揃い(ひだりない)
(太さが同じしめ縄は ごぼうじめ) (9:00)



ベテランが細い縄を手で絞っています



大しめ縄用の縄3本が完成



端を結び撚る準備



太い3本を撚るのは大変 (先の方から見て左撚り)



立派な大しめ縄が完成 昨年(右)よりかなり太身



大しめ縄の取り付け



おみくじを結ぶ「おみくじ掛け」を設置

<しめの子を作成>



わらの中央に吊るす（抜け止めのごぶ付）縄を入れる



わらを束ねて中央付近を針金で縛る



茎側を折り返す



くびれを付けるため叩いて締め上げる



押切で切断し先を揃える



完成（3つ必要）



しめの子と紙垂を取り付ける



完成

しめなわ {標縄・注連縄・七五三縄}（シメは占めるの意）神前または神事の場に不浄なものへの侵入を禁ずる印として張る縄。一般には、新年に門戸に、また、神棚に張る。左捻（よ）りを定式とし、三筋・五筋・七筋と、順次に藁の茎を捻り放して垂れ、その間々に紙垂（かみしで）を下げる。（広辞苑より）

神様から見たときに元の太い部分が左側になるように飾ります。

